



No.103

2017(平成29)年

11月1日

発行

浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組責任者  
藤本使朗

東井義雄

一番はもちろん尊い  
いちばん  
とうと  
ひかり



広い本堂で元気いっぱい！笑顔いっぱい！楽しく遊びました(日高組キッズサンガ)

## ヒダカくん・ひかりちゃんの 『御文章』のお話

永原智行  
その七

**ひかりちゃん** すごいわね、五百年前にボーダーレスの思想があつたということ？ また、何度も攻められて蓮如さんはタフだったのね。

**ヒダカくん** もちろん、蓮如さん自身もタフだったろうけど、蓮如さんの周りに偉いお弟子がいたんだ。偉いといつても、どこかのお寺で修行したとかいうのでなくて、昼間は念佛者で、夜は反権力者の海賊（かいぞく）として琵琶湖（びわこ）の経済を牛耳（ぎゅうじ）っていた人たちだよ。

今は、経済といえば、貨幣（かへい）の経済力をいうけど、彼らが、海賊や悪党（あくどう）といわれたのは、土地を支配していなかつたから。当時から全国的に普及していた貨幣や物の流れを支配していたんだ。

**ひかり** 封建制度（ほうけんせいど）ということの範疇外（はんちゅうがい）の人ね。

**ヒダカ** 代表的な人は、道西（どうさい）だよ。道西は蓮如さんより十六歳も年上だけど、蓮如さんを深く敬愛（けいあい）してたんだ。道西に頼まれて、正信偈（しょうしんげ）の解釈をしたり、『御文章』を書いて門信徒に手紙で布教することを勧（すす）めたんだ。道西が、蓮如さんに書いてもらった「南無阿弥陀仏」の掛け軸（かけじく）を倉庫に大切にしまい込んでいたのを、蓮如さんはしまわずに「掛け切れ」と諭（さと）されたんだ。

**ひかり** 戦国の時代の人は元気な人ね。

**ヒダカ** それからこんな話もあるんだ。蓮如さんの勢力が盛んになって、山科に広大な本願寺を建てたんだ。それまでの逃亡生活であずけられていた親鸞さまのご真影（ごしんねい）木像（木像）をかえしてもらいたいと大津のお寺に頼むことになつたけど、この像があることで繁盛（はんじょう）していくお寺は、生首（なまくび）二つもつてこいと難癖（なんくせ）をつけたんだ。この話を聞いたある門徒の親子は、「阿弥陀様のご恩に報いるときだ」と息子の首をそのお寺に持つていき、「次に私の首をはねよ」といつて返してもらおうとしたんだよ。けれど、当時の人たちは命がけで自分たちの信仰を守ろうとしてたのね。

# 法話

## 信行両座と信心説論

講談に託す

(川本三栄子)さんという方がいらっしゃいます。

新たな伝道方法を模索している時に出会ったこと

もあって、浄土真宗のみ教えが講談で伝えられたら

という思いで旭堂さんにそのことをお願いしてみま

した。あいまいな返事でしたので、期待半分・あき

らぬ半分でいましたが、様々な事情もあって浄土真

宗に因んだ講談を作つていただけたことになつたの

です。

それは「親鸞聖人の妻 恵信尼(えしんに)様」という講談です。親鸞聖人は僧侶の身分で結婚された最初のお方だと知られています。また恵信尼様も親鸞聖人の妻となられ、越後の国(現在の新潟県上越市)におられたときに五輪の塔(とう)を建てられ、仏教婦人会連盟の式章にこぶしの花がデザインに用いられています。

その後、第一作目となる「若き日の親鸞聖人」を作つていただいた時には、当初の目的であつた浄土真宗のみ教えを伝えることに主眼をおいて、申し訳なくも随分加筆訂正させていただきました。

内容は、本願寺第三代宗主、覚如(かくにょ)上人が、親鸞聖人のご遺徳(いとく)を讃仰(さんこう)するため、その生涯を書き記された『御伝鈔(ごでんしょう)』を中心構成されていますが、特に大切にしたのは信行両座と信心説論と言われる二つのお話をです。

### 一つめのお話(信行両座)

法然上人の元には多くの人々が集まって、その教えを聞いておられましたが、正しく聞いておられる方が少なかつたようです。親鸞聖人はそのことを憂慮して、「阿弥陀如來の本願を信じるその時に、お淨土に生まれてゆくことが定まるのか、念佛を称えれる行ぎょうを励むことによってお淨土に生まれてゆくのか」を二つに分けて、それぞれが正しいと思

### 二つめのお話(信心説論)

ある時、親鸞聖人が「法然上人のご信心と私の信心と、少しも違いはありません。まったく一つです。」と仰られたことを他のお弟子方が聞いて

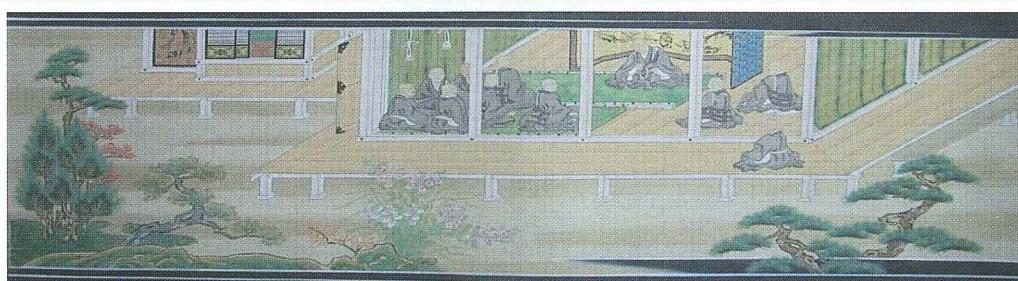
論争になつたというお話です。

親鸞聖人は「信心とは智慧が深いとか浅いとかでいうものではなく、他力の信心とは、みな同じようすに阿弥陀様から賜つたものですから、違ひがあることはありません。」と申されました。

私が称えさせていたゞくお念仏は、阿弥陀様が「お前を必ず救う」との喚(よび)声であり、わたくしの方から言えど、「お陰さま、有難うござります」というご言葉としか言いよう



御絵伝 第二軸・第二図 「信行両座」



御絵伝 第二軸・第三図 「信心説論」

(藤田)



阿弥陀様のお慈悲を聞き喜ばせていただきたいものです。

### 浄土真宗のみ教えの要(かなめ)

この二つのお話は、浄土真宗のみ教えの要のことを伝えてくださっています。

そのことを聞かれた法然上人は、「信心が違うことのなら、それは自力の信について言うことです。阿弥陀様から賜つた信心ですから、少しも異なつたところのあるはずがあります。」と諭され、論争はおさまつたということです。

## 女性の生きる力

念興寺 上西僧行

ある講師のお話ですが、祖父母と同居している子どもは何となく羨(しつけ)が違うということでした。我が父母が、祖父母に行うところを見て、子どもは我が親に対してもうべき事の何たるかを知ります。文字通り、両親は背中で我が子を教育しているのです。

しかし、今日の現況は祖父母と同居している家庭は希で、ほとんどが別居しています。いわゆる世に言う「家付き、カ一付き、バ一抜き」であります。

では、どうしてお婆さんだけ抜かれるのでしょうか? どうも爺さんより婆さんが長生きするからだそうですね。

女性の一生は四つの字で表せると申します。女性の良いのは娘さんの間だけのようとして、「娘」の字は、女偏(おんなへん)に良いと書きます。

他家に嫁入りしますと女偏に家と書いて「嫁」。嫁さんは次第に口やかましくなり、鼻につくようになりますから女偏に鼻と書いて「嬪」(かかあ)。嬪はそのままおりますと次第に古くなるから女偏に古いと書いて「姑」(しゅうとめ)です。

こうなると抜こうというのです。

しかし、姑には人生経験が豊富にあります。古き良きものを次の世代に伝えてゆくという老人に課せられた責務と役割こそは、まさに老人の生き甲斐そのものだと思います。

そうした意味からも、お子さんやお孫さんたちとふれ合う機会を大切にし過ぎていただきたいもので

ある講師のお話ですが、祖父母と同居している子どもは何となく羨(しつけ)が違うということでした。我が父母が、祖父母に行うところを見て、子どもは我が親に対してもうべき事の何たるかを知ります。文字通り、両親は背中で我が子を教育しているのです。

しかし、今日の現況は祖父母と同居している家庭は希で、ほとんどが別居しています。いわゆる世に言う「家付き、カ一付き、バ一抜き」であります。

では、どうしてお婆さんだけ抜かれるのでしょうか? どうも爺さんより婆さんが長生きするからだそうですね。

女性の一生は四つの字で表せると申します。女性の良いのは娘さんの間だけのようとして、「娘」の字は、女偏(おんなへん)に良いと書きます。

他家に嫁入りしますと女偏に家と書いて「嫁」。嫁さんは次第に口やかましくなり、鼻につくようになりますから女偏に鼻と書いて「嬪」(かかあ)。嬪はそのままおりますと次第に古くなるから女偏に古いと書いて「姑」(しゅうとめ)です。

こうなると抜こうというのです。

しかし、姑には人生経験が豊富にあります。古き良きものを次の世代に伝えてゆくという老人に課せられた責務と役割こそは、まさに老人の生き甲斐そのものだと思います。

そうした意味からも、お子さんやお孫さんたちとふれ合う機会を大切にし過ぎていただきたいもので

## れんけん「連続研修会」 受講者募集のご案内

日高組では、第10期れんけん「門徒推進員養成連続研修会」の受講者を募集します。現在、日高組では門徒推進員として活動されている方が1名のみです。

連研修了者の方にご本山での中央講習(3泊4日)を受講いただき、「門徒推進員」としてご活躍いただけるよう受講を勧奨しています。

この機会に是非「れんけん」をご受講いただきますようご案内いたします。

詳細はお手次の寺院まで!



日高組ホームページ

## お知らせ

ひかり編集委員会では、紙面を充実するため、日頃の寺院活動や読者の皆様からの投稿をお願いしています。

寺院独自の法座やイベントに限らず、疑問に感じたことなどご投稿いただけますようご協力をお願いします。

紙面及びホームページに掲載させていただきます。

掲載希望の方は、日高組メール  
[hidakaso1712@gmail.com](mailto:hidakaso1712@gmail.com) まで。

また「ひかり」に関するご意見ご感想など法悦クイズとともにどしどしご投稿ください。

ハガキまたは、ホームページからご投稿いただけます。

## 浄土に生まれた人はどうしているでしょう?

次の1~3の中から一つ選んで番号を書いてください。

1. 安らかに眠っている
2. 仏となって、日夜私たちを救おうとしている
3. 悪いことをすると罰をあてる

102号の正解は、

「3. 布施のことで、喜捨の心で行う」でした。  
正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由良町 濱上由美子 様  
御坊市 塩田 廣一 様

由良町 岩崎 信子 様

前回は正解者が3名でした。少し難しかったかな?

## 法悦クイズ

ホームページ、またはハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、紙面についてのご感想、ご意見等を明記の上、下記までお送り下さい。

〒649-1221

和歌山县日高郡日高町志賀2988番地  
妙願寺内 日高組事務所 宛

★抽選で10名の方に粗品を  
進呈します。

締切 平成30年1月20日(必着)

発表は次号です



暑いけど一日楽しく遊ぼうね！



お仏壇のパズルって結構むつかしいなあ



上手に完成できたかな？ はい！



濱出さんの指導で手作り水鉄砲をつくったよ



平成29年度、日高組子どものつどい「キッズ・サンガ」が7月29日、由良町里の連専寺において開催され、「子どもたちの声が聞こえるお寺に」をスローガンに、日高組内から35名の児童が参加して楽しみました。当日は、総代会・婦人会の協力のもと、盛りだくさんの催しが準備され、子供たちは猛暑の中、大粒の汗を流しながらも手を合わせ、笑顔で多くの人とふれあい、元気いっぱいに夏休みの1日をお寺で過ごしました。

御同朋の社会をめざす運動（実践運動）

最初はまず全員で正座をし、念珠を持って合掌し、お勤めをしました。行事の「まなぶ（おぶつだんあわせ）」ではグループに分かれて、ばらばらになつた仏壇の莊嚴の絵を正しい場所に並べるパズルを使って、みんなで本堂の莊嚴を参考にしたり、家の仏壇を思い出したりと、協力し悪戦苦闘しながらも正しい仏壇になるようゲーム感覚で学びました。次に「つくる」では、一人ひとりに用意された、竹製の水鉄砲の部品を大人に手伝ってもらいながらも、一生懸命に組み立てていきました。

# 子どもの声が聞こえるお寺に ♪キッズサンガ2017 イン 連専寺

日高組主催

★★★堂内で笑い声と念佛の声が響く★★★

# 「子どものつどい～キッズサンガ～」4・5面



ねらった的に当たるかな？ 意外と簡単だよ！

## 結ぶ縁から、広がるご縁へ



水遊びに飽きたらカルタとりで遊ぼ！



お昼は寺族婦人のおばちゃん特製の「カレーライス」！ 食後は「かき氷」もいただきました。

近年、多様な家族形態、生活習慣の変化により、日常生活の中で宗教的習慣を伝えていくことが大変困難な状況にあります。しかししながら、今年も沢山の子供たちが行事に参加され、お寺を居場所にしてもらえるよう努めました。おかげで、このイベントの重要性を感じた一回でした。世代をこえたご縁づくりの場としても、今後も継続していきます。（報告者 鈴木章吾）

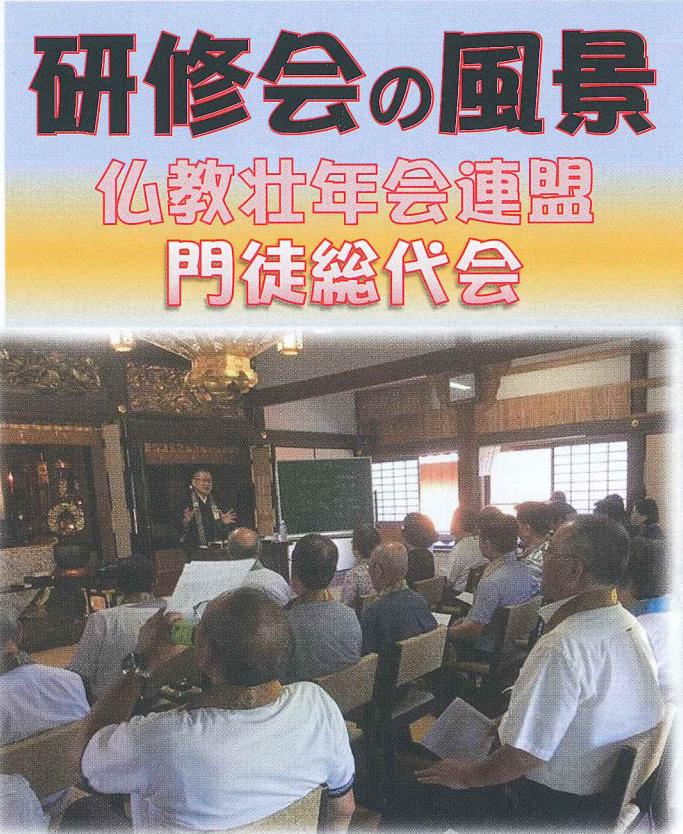


壮年会会員にも『念佛者の生き方』に学ぶと講義される中岡教務所長

8/19 仏壯連盟総会にて、新役員が選出される  
左から 会長 森下将美さん (淨明寺)

副会長 工徳一夫さん (念興寺)  
副会長・会計 塩崎隆弘さん (円照寺)

緊張した様子でご挨拶!  
引き続きの研修会では中岡教務所長の講義を受けた



結ぶ縁から、 広がるご縁へ



7/15 総代会前期研修会には大勢の門徒総代さんが参加、研修会では中岡教務所長から講義を受けた



帰敬式(おかみそり)を受式すると  
ご本山より法名と共に式章が授与されます

式章とは僧侶が首に掛けている輪袈裟を短くしたような物を言います。近年、お寺にお参りをするときや研修会でこの式章を掛けている方が多く見られるようになりました。

この式章は帰敬式を受け、ご本山よりいたゞくのですが浄土真宗の門徒である明かりととなります。ご家庭での仏事やお寺の法要時などには是非着用しましょう。

また、式章はほぼ一定の大きさ形ですが、いろんな柄模様があります。

なお総代さんには「総代式章」仏教婦人会には「仏婦連盟式章」などがあります。お寺参りの必需品として、聖典やお念珠と共に必ず持参しましょう。

(鈴木)

**門徒心得**

各寺院では「報恩講」法要が勤まり、鐘の音が聞こえる時期となりました。

鐘の音に導かれ、是非お誘い合わせお参りしましょう。



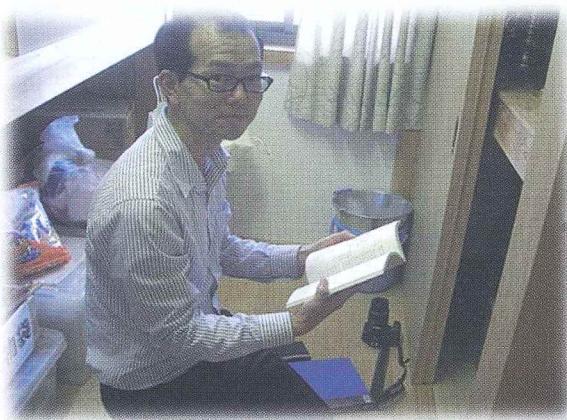
## 14代將軍 家茂公の 風呂桶

公方様御碇泊諸事控によると、文久4年（元治元年一八六四）1月6日と7日に、14代将軍徳川家茂公が、参与会議のある二条城に向かうために、軍艦翔鶴丸で大坂に向かう途中、当寺を本陣に休息された。その際、病弱の将軍は朝鮮人参を入れたお風呂にはいられ、蜜柑を召し上がった。その風呂桶は今に残っている。蜜柑の木は「献上蜜柑」と今に残っている。この一行の中に勝海舟がいたという。

の展覧会に、由良町教専寺から第14代将軍徳川家茂公が使用したお風呂桶と、「公方様御碇泊諸事控」などが出展されます。  
 (10月21日(土)から11月26日(日)まで)  
 入館料500円)

## 和歌山市立博物館 「秋季特別展」に出演! (阿戸 教専寺) 組内寺院 宝物紹介

今回の出展に当たり、6月には市立博物館の佐藤顕先生が調査に、7月には佐藤先生と太田宏一先生が、図録等の準備のため来坊されました。



風呂桶の底板に書かれている文字

### 江南山宝物

元治(げんじ)元 甲子(きのえね)初春  
正月七日 7ツ時比(ころ)  
上様御浴湯  
被遊候(こうむりあそばされそうろう)

# 読者の声

※「老若男女が集まるお寺にしよう」を読みましたが、私も前から考えは同じです。各お寺として、子供から老人まで集まれるイベントを前から考えていますが一人では何もできません。

※いつも「ひかり」を拝読しています。今回は衣奈西教寺の降誕会を載せていただきうれしかったです。

※小学校の時は教専寺の土曜学校で、お勤めを教えてもらつた。

※今年の暑さは格別に思います。秋彼岸が待ち遠しいです。

※酷暑の折、ご自愛下さいませ。

※いつもお世話になっています。

2017(平成29)年11月1日



☆和歌山教区主催第3ブロック門信徒総研修会  
(日高組担当)

9月30日、本願寺日高別院において標記研修会「聞法の集い」が日高組担当により開催されました。講師に福井教区の藤井静蔵師をお迎えして、「確かに依りどころをいただく人生」と題し、お話をいただきました。総勢二八〇名が参加、熱心に聴聞しました。

三、研修の内容 私たちの人生の歩みを通してくる問い合わせお互いに話し合う中で、親鸞聖人の教えに聞いていき、歩むべき方向を明らかにしていく話し合い法座を中心に研修をします。

四、研修の方法 2年間12回(1回3時間)の連続研修。

三、研修の内容 私たちの人生の歩みを通してくる問い合わせお互いに話し合う中で、親鸞聖人の教えに聞いていき、歩むべき方向を明らかにしていく話し合い法座を中心に研修をします。

四、研修の方法 2年間12回(1回3時間)の連続研修。

# 日高組通信

## ☆行事報告

### ◎門徒総代会

29年度門徒総代会前期研修会が7月15日、日高町小浦円行寺にて開催され、中岡順忍和歌山教区教務所長による「念佛者の生き方」に学ぶの講題で、専如門主の御消息について解説を受けながら学びました。(6面に関連記事掲載)

### ◎仏教壮年会連盟

29年度日高組仏教壮年会連盟の総会並びに研修会が8月19日、御坊市の花び坊にて開催され、会員・僧侶ら25名が出席、29年度事業計画案、予算案、役員選出等が審議され、それぞれ原案通り承認可決されました。総会後には中岡順忍和歌山教区教務所長から仏教壮年会組織と、「念佛者の生き方に学ぶ」の講義を受け、「小欲知足」「和顔愛語」の生活実践が大切だと聞かされました。引き続き、懇親会が開催され、会員相互の親睦を図りました。(6面に連記事掲載)

## ◎仏教婦人会連盟

29年度仏教婦人会連盟の研修会が10月24日、本願寺日高別院にて開催され、菅原仏婦部長(尊福寺住職)より「仏事のイロハ」阿弥陀様と私との講題で研修を受けました。

## ☆行事計画

### ◎第23回日高組貞宗法座

「第10期連続研修会(れんけん)開講式」次の通り標記法座を開催しますので多くのご参加をお待ちしています。なお第10期連研(れんけん)の受講者募集をしていますので受講ご希望の方は11月末までにお手次の寺院までお申し込みください。

日 時 12月10日(日)午後一時半から  
場 所 日高町志賀 即生寺  
講 師 滋賀教区 鈴木善隆 師